

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 日本ゼオン株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒100-8246 東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル	
本票作成	部署名：日本ゼオン株式会社 水島工場 統括管理課				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	製造業 合成ゴム等の化学工業製品の製造 従業員：312人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	日本ゼオン株式会社水島工場		岡山県倉敷市児島塩生字新浜2767-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数(②該当の場合) 0 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 25)年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	219,335 t CO ₂	182,787 t CO ₂	215,035 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 25)年度排出量
	①	日本ゼオン株式会社水島工場	182,787 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 22 年度 ～ 平成 26 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(25) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	24.3 %	2.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 工場生産する製品換算生産量(千t)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(25) 年度	目標年度
		338.1 t CO ₂ /(千t)	255.8 t CO ₂ /(千t)	331.5 t CO ₂ /(千t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 25 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

工場の管理標準に基づき、エネルギー使用状況を把握し、省エネ対策に取り組んだ。プラントの高度制御による運転の最適化など、計画に盛り込んだ活動を実施し削減に結びつけた。ボイラー等の運転では、概ね計画通りの適正な運転を図ることが出来、昨年度と比べ原単位は良好となる。換算生産量は、昨年度比101.3%。

【推進体制】

工場のエネルギー管理体制による推進。
また、ISO14001環境マネジメントマニュアルに沿った管理を実施している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
日本ゼオン株式会社水島工場	<p>(25年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①不要時、消灯の徹底及び空調設定温度管理の実施 ②新保温材による燃料使用の削減 (1,730tCO2/年) ③プラントの熱回収によるスチーム使用量の削減 (400tCO2/年) <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①不要時、消灯の徹底及び空調設定温度管理 ②休止中タンク有効活用によるボイラー燃料の安定化 (3,100tCO2/年) ③スチームトラップ点検管理によるロス削減 (1,600tCO2/年) ④既存ボイラーの更新による効率化アップ (4,200tCO2/年) <p>効果は2015年度より</p>

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	有	岩手県上閉伊郡大槌町にて、「平成の杜」植樹会に協賛。

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

実績報告の外数として、石油系タールピッチ由来のCO₂ (温対法の算定活動・区分に該当しない)が、145,111tCO₂発生している。